

フランソワ・ファイト作曲 オペラ「卒塔婆小町」について

東京のアベックのよく来るとある公園、1人の汚らしい老婆がたばこの吸殻を捨てている。そこへ少し酔った詩人まがいの若者がやってきて、アベックのためのベンチを老婆が每晚1人占めにするのを非難し、2人は会話を始める。老婆は現在98歳、昔は小町と呼ばれて鹿鳴館の舞踏会で深草少将も夢中になった美女だったこと、彼女を美しいと讃えた男達はみんな死んでいったことを語る。最初はその話を嘲笑っていた詩人は、段々に老婆の話に引き込まれてゆき...

世界中に翻訳されている三島由紀夫の作品の中から近代能楽集の「卒塔婆小町」のマルグリット・ユルスナールの仏訳にフランソワ・ファイトが小林真理のために2020年に書いたオペラの世界初演が鹿鳴館の明治時代を彷彿させる京都文化博物館の別館ホールに登場。(日本語字幕付き上演、50分) ヴィデオ制作・配信: Seaside Classics、照明: RYU 大沢安彦



フランソワ・ファイト François Fayt 作曲家

1946年、カルヴァドス生まれのフランス人の作曲家。ヴェルサイユのコンセルバトワールとエコールノルマルでピアノをチックリニニから学び、ミシガン大学のエウゼン・クルツ教授より作曲を学ぶ。1984年にマルセイユの国立劇場の演劇作品の音楽を作曲し始め、シャンゼリゼにロンポアン劇場で初演されたオペラ「5月の木」、ピアニストのジャン・マルク・ルイサダとオーストラリアの四重奏団からの委嘱作品、ドイツのエルフルト国立劇場で初演されたオペラ「黒い血」その他数々の作品を作曲しているフランスの現代作曲家の1人である。



小林 真理 メゾソプラノ

鎌倉市生まれ10歳より声楽を中村浩子女士に師事。東京芸術大学音楽部声楽科、大学院を卒業後、フランス政府給費留学生としてパリの国立高等音楽院に入学。レジーヌ・クレスパン、ウィリアム・クリステイに師事。在学中よりフランス国営放送などの現代音楽の初演をつとめ、卒業後パリの歌曲コンクール、クレルモン・フェロンのオラトリオ・リートコンクールらで受賞しバロック、オペラ、現代曲、映画音楽、CD録音と幅広いジャンルの活動を始める。その後進学した東京芸術大学博士課程においてメシアンの歌曲集ハラウイの演奏と論文で博士号を取得する。P・プーレーズ、佐渡裕、J・テート、M・ロストロポーヴィッチ、J・C・スピノジらの指揮者のもとで歌い、ヨーロッパのみならず、アメリカ、オーストラリア、ポーランドなどのフェスティバルでソリストを勤めている。2004年よりストラスブール地方国立音楽院の声楽の専任教授になり、ポルドー近郊ウルタンのアカデミーやワイマルマル音大でマスタークラスを行い後進の指導にも情熱を注いでいる。日本での演奏活動も増えてきて新日フィルとの第九のソロ、大原美術館のギャラリーコンサート、津山国際音楽祭でのマラーのリサイタルなど歌っている。湘南日仏協会会員。日仏現代音楽協会名誉会員。

Photo: Marta Kohler

公式ブログ <https://marie.groupe-chene.com>

女1 柚木たまみ ソプラノ

京都市立堀川高校音楽科、国立音楽大学卒業。滋賀短期大学国外研究員として渡仏、ストラスブール音楽院にて研鑽を積む。現在、滋賀短期大学教授。

女2 谷口美也 ソプラノ

1997年同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽専攻及び1998年同大学特別専修生修了。その後渡仏し2000年から2007年までボーヴェ音楽院声楽科で小林真理に師事。2002年から2008年までメッス音楽院のパロック声楽科に在籍しモニク・ザネッティ史のもとで研鑽を積む。



詩人、男1 リオネル・サドゥン Lionel Sadoun バリトン

法律や経済を大学で学んだあと、デジタル系の会社を設立して傍ら歌の勉強を続けている。2019年ストラスブール地方音楽院のディプロムコース、小林真理のクラスに入学し、2022年5月卒業資格を得る。2021年にはエチエンヌ・フェレの指揮によるJ・シュトラウスのオペレッタ「こもり」のファルケ博士役で、アルザスの劇場で数回公演する。2022年秋には同じ指揮者でF・レハールのオペレッタ「メリー・ウイドウ」のミルコ・ツェータ男爵役を歌う。

男2 寛明絵 メゾ・ソプラノ

1996年愛知県立芸術大学院修了、在学中よりフランス歌曲に興味を持ち、1998年に渡仏。エコールノルマル音楽院、ボーヴェ音楽院、ストラスブール音楽院にて研鑽を積む。2012年より在仏日本人会女声合唱団みもぎの指揮者を務める



ピアノ 松田 琴子

東京に生まれる。2009年に旧都立芸術高校、2013年に桐朋学園大学音楽部、2022年にストラスブール地方音楽院スペシャリゼーション科卒業。現在ストラスブール音楽大学ピアノ修士課程に在籍、2022年、ドイツのレーベル、コヴィエロ・クラシック社によるフランス現代音楽界の重要な作曲家の1人、ユグ・デュフルのピアノ作品集CD中2曲を録音。2023年に発売予定。伴奏者の経験も多く、サントリーホールオペラアカデミープリマヴェーラ・コースで研鑽を積む。2018年イタリア・ローマにて声楽家ジュゼッペ・サッパティエ二氏のマスタークラス伴奏者を務める。現在はストラスブール地方音楽院、大学にて伴奏ピアニストとして後進の指導にも力を注いでいる。

Photo: Shigetoshi Imura



ヴィブラフォン 杏野 勢津子

2007年京都市立芸術大学音楽部を首席で卒業。ルームミュージックファンデーションの奨学生としてアメリカボストン音楽院に留学し2010年に同大学院を卒業。2009年イタリア国際打楽器コンクールマリンバ部門第一位受賞をはじめ数々の賞を受賞。現在、京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師、札幌大谷大学芸術学部音楽学科非常勤講師、ドルチェ音楽教室講師。国内最大マリンバメーカー「こおろぎ社」アーティスト



京都文化博物館 別館ホール

〒604-8183 京都市中京区三条高倉

TEL: 075-222-0888 FAX: 075-222-0889

<https://www.bunpaku.or.jp/>